

# みんなで、SSピンポン！

SSピンポンは、生涯（Syougai）の『S』とスポーツ（Sports）の『S』を頭文字に、誰でも参加できる新たなバリアフリースポーツです。

2015年に三重で始められました。音の出るボールとラバーが貼ってないラケットを使い、卓球台とネットの隙間(4.2センチ)をくぐらせるように打ち合うスポーツです。

## SSピンポンの特徴

- ダブルスは、全盲同士以外であれば、健常者同士でペアを組んでも楽しめます。
- 審判員は、特別なライセンスは不要です。
- 一般卓球台にフレームを付けて楽しめます。（養生テープなどで取り付けます）



キュウト君



ラケナちゃん

みんなでSSピンポン！

## エンジョイ SS ピンポンクラブ連絡先

村井 正治 （代表） 〒516-0008 伊勢市船江 2-29-62

Tel・Fax : 0596-24-5501

鳥居 勇次（四日市市）

伊藤 雅彦（菟野町）

黒田 智子（鈴鹿市）

ホームページ <http://sttmie.ssquin.com/>

メールアドレス：[pinpon@ssquin.com](mailto:pinpon@ssquin.com)



## < 用具 >

- ボールは、中に金属の粒が入った音の出る物（STT 用ボール）、ラケットは、ラバーを貼らない木製の物を使用。
- 卓球台は STT の専用台、または一般卓球台にフレームを付けて使用。  
（フレームとは、高さ 1.5 センチ、幅 1 センチの物。エンドには全て、サイドはエンドから 60 センチの所まで取り付ける）

### < ルール規定 >

- くちジャンケンでサーブ、レシーブ、エンド（コート）のいずれかを選択する。
- 審判が「プレイ」と言った後、サーバーが「いきます」、レシーバーが「はい」と言ってからサーブを打つ。
- サーバーの右側のコートから相手の右側のコートに入るように斜めに打つ。
- サーブは2本ずつで交代。
- ラリー中はコート全面を使用。
- ボールがエンドフレームに当たるか、またはエンドフレームに当たらずコート外に出た時点でどちらかのポイントとなる。

### < サーブ時の注意点 >

- サーブ時のラケットとボールの距離は10センチ以上離す。
- ボールから手を離し、ラケットとボールを静止させてから「いきます」と言う。

### < ラケットの角度 >

- 打球時の角度が60度以下になると「ホールディング」で相手のポイント

### < 打球音について >

- ラケットを持つ手やグリップで打っても、打球した音がわかればよい。
- ラケットでテーブルをたたいたり、こすったりして打球音がない場合、「ホールディング」で相手のポイント

### < ポイント判定について >

- サーブしたボールがネットに触れると「ネット」で相手のポイント
- サーブしたボールが、レシーブエリアのセンターラインを外した場合「コースアウト」で、相手のポイント。但し、コースアウトのボールをリターンした場合、ゲームは続行。
- サーブしたボールがコート外に出た場合「フォルト」で相手のポイント
- サーブもラリー中も、ボールがエンドフレームに当たった後、もう一度コート上のどこかに当たれば「セーフ」で打った選手のポイント
- ボールがエンドフレームに当たった後、コート外に出た場合「アウト」で相手のポイント
- ボールがエンドフレームに当たった後、テーブル上で選手の体やラケットに触れた場合「コート内タッチ」で相手のポイント
- ラケットに当たった後、コート外に出るか、または相手の守備エリアまで到達しない場合「リターンミス」で相手のポイント

### < 試合 >

- 通常11点5ゲームスマッチで、3ゲーム先取した選手が勝ちとなる。